

## 武蔵野美術大学 美術館・図書館活動方針

### <美術館>

#### 1\_教育研究活動の支援

武蔵野美術大学の教育・研究活動の要請に応じて、資料の収集、整理、保管、調査研究とその公開を行う。本学の教育活動に資するコレクションを構築し、その積極的な利活用を心掛ける。同時に研究活動に対しては、美術・デザインにおける専門分野の深化、あるいは領域を横断した研究が可能になるような支援を目指す。

#### 2\_創造活動拠点の形成

美術大学の大学美術館に相応しい国内外の優れた資料を収集、展示することをはじめ、自由で挑戦的な活動の実施、若手作家育成機会の創出、研究活動を促進させるアーカイブ資料の収集、構築等により、美術大学における創造活動の拠点として機能する。

#### 3\_美術・デザインの歴史検証

収集、整理、調査研究、あるいは展覧会等による公開・発信活動を通じて、国内外の美術・デザインあるいはその周辺領域の歴史に触れる機会を提供し、その検証と継承に寄与する。

#### 4\_社会価値化の推進

美術・デザインの存在感向上を目指すとともに、美術大学の社会的使命と存在意義を常に意識し、本学の教育・研究活動から生まれる「もの・こと・ひと」を原資として、社会に向けた価値創造を推進する。

#### 5\_ステークホルダーの拡張

展覧会や教育普及をはじめとする美術館の諸活動を通して、本学における学科や領域を越えた新たな関係性を創出する。更には学生や教職員を軸として卒業生・保護者、さらには国内外の美術館をはじめ、地域社会、自治体等、本学を取り巻く様々なステークホルダーとのエンゲージメントを向上させる。